

# 令和6年度 学校マネジメントシート

学校名( 三重県立津高等学校 )

## 1 目指す姿

(1)目指す学校の姿	「自主・自律」の校訓のもと、高い知性と教養を持ったリーダーが育つ学校	
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	1 日常において「自主・自律」を実践できる、知・徳・体の調和のとれた生徒 2 主体的に学び、自らを律し、粘り強く努力することで、生涯にわたって自己実現を図るとともに、心豊かで、高い志を抱いて社会に貢献できる生徒
	ありたい教職員の姿	1 子どもたちに対する愛情にあふれ、豊かな人間性、人権感覚を備えた教職員 2 目指す学校像の実現に向け、前向きでチャレンジ精神にあふれた組織風土の中で、自らの専門性を高め、「チーム」として協力し合って教育活動に取り組む教職員

## 2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>&lt;生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質が高く、能動的に取り組むことができる授業</li> <li>・安全・安心で充実した学校生活と一人ひとりが大切にされる教育活動</li> <li>・総合的な学力の伸長と進路希望の実現</li> </ul> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学力と人間力の伸長、進路希望の実現に向けた教育活動の充実</li> <li>・安全・安心な学習環境</li> </ul> <p>&lt;地域社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で信頼される「公立進学校」として、将来の社会を支える市民を育成</li> <li>・地域の活性化につながる教育活動</li> </ul>	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な学校生活・学習環境</li> <li>・子どもの人間的成長と進路希望実現</li> </ul> <p>&lt;地域社会&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>小中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の学力および人間力の伸長</li> <li>・学習活動における連携・協力</li> </ul> </li> <li>地域社会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーとしての資質や態度の育成</li> <li>・地域活動への生徒の積極的な参加</li> </ul> </li> <li>大学、研究機関等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的研究への理解と興味・関心の喚起</li> <li>・人的、物的な教育資源の活用</li> </ul> </li> <li>卒業生(同窓会) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自主・自律」の伝統の継承</li> <li>・生徒が高い志(進路希望)を実現</li> </ul> </li> </ol>	<p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校教育方針への理解と協力</li> <li>・相互の信頼に基づく意思疎通</li> </ul> <p>&lt;地域社会&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>小中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動における連携・協力</li> </ul> </li> <li>地域社会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民性、社会性を育む学習機会の提供</li> <li>・学校外の実社会を体験できる機会の提供</li> </ul> </li> <li>大学、研究機関等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な研究活動の機会や場の提供</li> <li>・生き方や進路等を考える機会の提供</li> </ul> </li> <li>卒業生(同窓会) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自校教育」の機会の提供</li> <li>・生き方や進路等を考える機会の提供</li> </ul> </li> </ol>

(3)前年度の学校関係者評価など		<p>○探究活動の成果発表会では、生徒の主体的な姿を見ることができた。しっかりとPRするとともに、生徒の質問力が向上するよう取り組まれない。</p> <p>○一人一台学習端末の利用促進のためにも、学習の振り返りをさせるなど毎時間必然的に触れさせる仕組みを導入するとともに、さらなる教員のスキルアップに期待する。</p> <p>○教員の丁寧な面談の取組が、進路指導上の効果を高めている。より気軽に相談できる雰囲気を作るとともに、聞き手として教員のスキルアップを図られたい。</p> <p>○津高校ならではの活性化・魅力化策を検討すべきである。</p>
(4)現状と課題	教育活動	<p>○「自主・自律」の精神を受け継いでいくためにも、生徒の「主体的に学びに向かう力」が高まり、高い志の実現に向けて効果的な学習を「自走」することができるよう、学校全体で組織的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>○「深い学び」を実現するために、一人一台端末やICT機器を効果的に活用して教育活動を進めていくことが求められる。</p> <p>○新教育課程をふまえ、授業改善や探究活動を核とするカリキュラム・マネジメントについて教科横断的な視点から進捗状況を把握しながら進める必要がある。</p> <p>○生徒の資質を多面的、多角的に把握し、人間力の伸長につながる指導ができるよう、研修等を通じて一層の力量の向上に努める必要がある。</p>
	学校運営等	<p>○令和4年度に刷新した学校のホームページを活用し、本校の教育活動が生徒にとってより魅力あふれるものになり、取り組み内容が中学生や保護者だけでなく県内全体に広く伝わるよう、効果的に情報発信をしていく必要がある。</p> <p>○一人一台端末やICT機器を授業において効果的に活用できるよう、使用スキル向上のための研修を効率的に取り入れるなど、教職員の負担にならないように進めていく必要がある。</p> <p>○生徒の抱えている問題が多様化していることから、保護者だけでなく、多様な外部専門機関と連携をさらに進めるとともに、適切に情報共有を図り、教職員が組織的に対応できるようにする必要がある。</p> <p>○スクールサポートスタッフ(SSS)の活用により、時間外労働時間縮減の取組は一定進んでいるが、会議時間の短縮や定時退校日の設定等に加えて、自動採点システムを全職員が利用するなどICTを効果的に活用することにより、一層の業務削減に取り組む必要がある。</p>

### 3 中長期的な重点目標

<p>教育活動</p> <p>【カリキュラム・ポリシー】</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習活動はもとより、スポーツ活動・文化活動等、あらゆる側面で充実した「文武両道」の高校生活を通じて、生徒一人ひとりの「高い志」「自主・自律の精神」を醸成し、「人間力」を高める。</li> <li>2. 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、探究的な学びの推進、ICTを活用した取組等、授業を中心とした教科指導を充実し、「必要な力が生徒に育まれているか」という観点を大切にして、確かな学力の向上を図るとともに、入学から卒業まで見通した進路指導を充実することにより、生徒一人ひとりの自己実現・進路実現に取り組む。</li> <li>3. 他者を思いやる心、生命・人権を尊重する心、政治的教養、倫理観、規範意識などを育む教育の充実にも努めるとともに、生徒主体の運営による学校行事や生徒会における自治的活動を通じて、生徒の豊かな人格形成や人間関係を構築する力の育成に取り組む。</li> <li>4. 第IV期を迎えたSSH事業を全校体制で推進し、探究活動を核としてすべての教育活動につなげることにより、生徒に教養の獲得を促すと同時に「創造性」「国際性」「課題解決能力」を育み、国際社会で活躍し、世界を牽引する時代の科学技術人材を育成する。</li> </ol>
----------------------------------	---

	5. 姉妹校(台湾)との交流を通じて、生徒が国際的な視野を広め、探究活動の深化をはかり、英語コミュニケーション能力の向上を図ることができるよう、相互訪問や共同研究の取組を進める。
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職員の資質能力の向上に取り組むとともに、教職員同士が教え合い、協力し合うことによって、さまざまな課題に「チーム」として取り組み、生徒の「自主・自律」をサポートする、組織力ある学校づくりを行う。</li> <li>2. 教育活動や学校運営について組織的・継続的な改善を図るとともに、学校・家庭・地域との連携を強化し、学校の取組を積極的に発信することを通して、学校力を高める。</li> <li>3. 業務の精選、総勤務時間縮減に向けた取組や教職員の満足度向上に向けた取組を通して、教職員が情熱とやりがいを持って生徒に向き合い、健康で働くことのできる環境づくりを行う。</li> <li>4. 学校図書館(津高図書館)は、これまでの「読書センター」「学習センター」としての役割に加え、授業での図書館活用や、探究的な学びの材料や機会の提供にさらに注力することによる「探究センター」としての役割、また部活動等との連携による「文化・情報センター」としての役割が高まるよう、運営の一層の活性化をはかる。</li> </ol>

#### 4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「自主・自律」を基本とする本校の校風や文化に対し興味を抱く生徒</li> <li>2. 「文武両道」を実践し、自らを鍛えようという気持ちを持つ生徒</li> <li>3. 学校生活における様々な取組において、意欲と関心を持って主体的に取り組める生徒</li> <li>4. 自らの可能性を信じ、失敗を恐れず挑戦しようという気持ちを持つ生徒</li> </ol>
--	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>主体的学習者の育成と確かな学力の向上</p>	<p>◇質の高い授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、探究的な学びの推進等に組織的に取り組み、質の高い授業づくりを目指します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケート(年2回)の実施</li> <li>・ICT活用事例または探究的な学びに関する授業実践報告の実施(各教科年2回)</li> <li>・研究授業の実施(各教科年1回)</li> <li>・授業公開Weekの実施(年2回)</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケート②～⑤の項目が高い水準で実施されていることが「主体的・対話的で深い学び」の実現に不可欠と考え、これらの項目において「はい」と答える生徒の割合が平均で90%であること。</li> <li>項目② あなたはこの授業において「新たに身につけるべき力」や「努力すべきこと」を認識して学習に取り組むことができましたか。</li> <li>項目③ あなたにとって先生の説明や問い、板書やスライド(パフポ)は伝わりやすいものになっていますか。</li> <li>項目④ 先生はあなたが主体的・能動的に取り組む時間を授業中に確保していますか。</li> <li>項目⑤ 先生から授業外で自ら行う学び(家庭学習)についての提案や助言はありますか。</li> </ul> <p>◇主体的な学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期指導を充実させ、主体的に学ぶという意識付けをしつつ、徐々に手を離していくことで、生徒の自律を促します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めの1・2週間程度を「ガイダンス週間」と位置づけ、全ての科目でガイダンスを実施。</li> <li>・1学年においては一人一台端末の活用のための土台を形成するための「Chrome ガイダンス」を実施</li> <li>・充実した類型科目選択になるように情報提供等で支援を行う</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校生活についてのアンケート」項目「意欲的に学習に取り組んでいるか」について、生徒の回答の②「だいたいできている」および③「できている」の割合の合計の値が80%以上、かつ③の値が33%以上</li> <li>・今年度は前期の授業アンケートでも同様の調査を実施</li> </ul>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>◎</p>

	かつその理由についても調査し、改善につなげる。 【昨年度実績】 1学年(現2学年)② 50% ③ 20% ②+③ 70% 2学年(現3学年)② 56% ③ 19% ②+③ 75%		
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
進路指導	<p>・「自主・自律」の校訓のもと、生徒が必要な情報を自ら分析・判断し、実際の行動に移せるような資質を養うことを目指します。</p> <p>・面談等を通して進路希望を把握した上で、個に応じた進路指導を組織的に行い、生徒の進路希望を実現します。また、適切な進路情報を提供するとともに、受験への支援を行います。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が将来について考えられる機会を提供(生徒参加企画等)</li> <li>・日々の学習と社会の接点が意識できるような活動を提供することによる社会貢献の意識の向上(授業内活動・生徒参加企画等)</li> <li>・生徒個別面談、保護者面談の実施(面談週間の設置)</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一進路希望実現率等</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
人権教育	<p>1 人権を重んじ、自由と責任を自覚した人間の基盤となる力をあらゆる教育活動の中で培います。</p> <p>2 生徒の自主性を大切にした人権学習を展開します。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年で行う人権アンケート</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

項目	取組内容・指標	結果	備考
生徒指導	1 基本的な生活習慣の確立を目指します。 2 社会生活におけるマナーの向上を目指します。 【活動指標】 ・交通安全・登校指導週間、完全下校巡視、校内巡視、情報モラル講座の実施 ・生徒会活動、HR活動、部活動、課外活動の奨励 ・各種教育活動の実施 【成果指標】 ・部活動への加入率等(90%以上の継続を目指す)※兼部を除く ・互いの人格を尊重し、他人を思いやる心の育成 【活動指標】 ・各種集会での講話等の実施	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
国際教育	◇SSH事業等を活用した国際交流活動の推進 ・国際的な視野の育成を図ります。 【活動指標】 ・台湾の高校生とのオンライン交流を10回、相互訪問を1回ずつ実施する ・海外の高校生や大学生との交流を実施する  ◇各種団体の主催する国際交流活動への参加を促進 ・県教育委員会主催の海外研修等への参加を推奨します。 【活動指標】 ・国際交流活動参加生徒の、のべ人数	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
文化活動の推進	◇読書生活指導の充実 ・本校図書館は、「自主・自律」の校訓のもと、高い知性と教養を持ったリーダーを育成するため、読書生活を支える場、文化的教養を育てる場、自主学習の場、交流の場として、幅広い知識と豊かな情操を養う資料を収集整備して、活用の充実に努めるとともに、文化活動を通じて文化的教養を育成します。また、これらの活動を自校だけのものではなく、他校の図書館も視野に入れた活動にしていきます。 【活動指標、成果指標】 ・読書環境の整備、利用の促進(貸出 9,000 冊、生徒貸出率 50%)	(年度末および適宜記載)	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌・学年・教科等との連携、およびSSH、LHR、授業等への支援</li> <li>・読書感想文コンクール、読書感想画コンクールへの応募、及び上位入賞</li> <li>・蔵書管理のシステム化、「学校図書館資料共有化ネットワーク事業」の推進</li> <li>・図書館を文化情報センターとして位置づけた、文化・学習にかかる情報収集と情報発信</li> <li>・図書館文化講演会、ビブリオバトル、ギャラリー展示、青空図書館、図書館Live、車座トーク、図書館講座、黒板本棚等生徒参加企画の実施</li> </ul> <p>◇芸術鑑賞の奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA主催の芸術鑑賞補助事業等への参加を積極的に促します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞事業等への参加人数</li> </ul>		
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
健康教育	<p>◇保健管理と保健教育、健康相談</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 心身共に健康で安全な生活を自主的に実践できる能力および態度の育成に努めます。</li> <li>2 健康診断、健康相談の充実と事後指導の徹底に努めます。</li> <li>3 学年毎の健康重点目標に沿った健康教育の充実を図ります。</li> </ol> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健講話(各学年1回)</li> <li>・「保健だより」の年10回発行</li> </ul> <p>◇救急時の対応</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全に対する意識を高める指導を行います。</li> <li>2 救急体制の充実を図ります。</li> </ol> <p>◇感染症予防への取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 感染症の早期探知及び生徒健康状況の把握を行います。(欠席状況調べ、健康観察等)</li> <li>2 感染症を未然に防ぐ取組を進めます。(CO2モニターやサーキュレーターの設定、感染症に関する保健指導等)</li> </ol> <p>◇教育相談</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 全ての教育活動をとおして、生徒の悩みや不安の解決に向けた支援や対応を行います。</li> <li>2 生徒を取り巻く環境を把握し、支援や対応を行います。</li> </ol>	(年度末および適宜記載)	

	<p>3 保護者、担任、学年主任、保健室、部活動顧問等と情報を共有しながら支援や対応を行います。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーによる教育相談の実施(年24回以上)</li> <li>・「教育相談だより」の年3回以上の発行</li> </ul>		
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
防災教育	<p>◇防災学習の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 避難経路、避難方法を年度早期において確認します。</li> <li>2 実的な場面を想定した避難訓練を実施します。</li> <li>3 「防災ノート」を活用した防災学習を実施します。</li> </ol> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練、防災学習の実施(年各1～2回)</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
探究的活動の推進とSSH事業への取組	<p>◇世界を牽引する次代の科学技術人材の育成を目的とした、「探究活動を核とし、すべての教育活動へつなげる科学教育システム」の確立</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 探究的な学びによる生徒の資質・能力の変容の検証による新たな学びの確立に取り組みます。</li> <li>2 外部機関(大学/企業/海外)等との連携による専門性の高い学びの実現に取り組みます。</li> <li>3 教育資源の還元による中核的拠点校としての活動を充実します。</li> </ol> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「SS探究活動Ⅰ」において、「リベラルアーツ」、「SS博 学科学」、「試行的な課題研究」の実施</li> <li>・「SS探究活動Ⅱ」において、1年間にわたる「課題研究」の実施、「SSH児童・生徒研究発表会」での研究成果の発表</li> <li>・「SS探究活動Ⅲ」において、2年次の研究成果の論文作成、英文要旨作成、学会やコンテストで発表</li> <li>・「SSH台湾研修」において、オンライン交流および相互訪問の実施</li> <li>・「SS先進科学」「SS生命科学」「SS特別講義」の実施</li> <li>・「みえ探究フォーラム」、「国際科学技術コンテスト強化講座」、「三重県高校生学会」、中学生向け探究活動体験講座「探究道場」、「小中学生向け科学講座」等の実施</li> <li>・津高SSHホームページにおいて活動報告</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			



項目	取組内容・指標	結果	備考
環境・美化教育	◇環境美化、公共性の向上に向けた取組 <b>【活動指標・成果指標】</b> ・美化委員会による清掃用具、清掃状況のチェックとフィードバック(年3回) ・美化委員によるゴミ分別のチェック(学校環境週間・大掃除時) ・環境美化改善へ、生徒のアイデアを取り入れた取組の実施 ◇環境問題に対する意識の醸成 <b>【活動指標】</b> ・「環境週間」を設け、その一日を「学校環境デー」として美化委員と生徒ボランティアで美化活動を実施	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

## (2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
授業力向上の取組と教育課程の研究・改善	◇授業力向上の取組 ・授業研究や授業公開、授業評価等をとおして、授業力の向上を図ります。また、ICTを活用することによって教員の業務負担を軽減し、取組に必要な時間を生み出します。 <b>【活動指標】</b> ・講座ごとの授業回数を定期考査ごとにそろえ、かつ年度初めの各回数を提示することで見通しを持った授業展開を促進する ・授業アンケートを実施する(年2回) ・ICT活用事例または探究的な学びに関する授業実践報告を実施し、HPで発信する(各教科年2回) ・研究授業の実施する(各教科年1回) ・授業公開Weekを実施する(年2回) ・保護者を対象とした授業公開を実施する ・学習指導委員会にて授業進捗を調査・把握する(年2回) ・ICTの活用についてのサポートおよび業務の自動化とその提案をする ・Classroomを各教科の情報共有の場として活用する <b>【成果指標】</b> ・各教科において、授業アンケートの結果を、授業改善のための資料として活用し、成果を検証する	(年度末および適宜記載)	◎

	<p>◇「カリキュラム・マネジメント」の視点から、日々の教育活動について組織的に改善をおこない、また、探究的な学びの指導方法や評価方法についての研究を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導委員会を中心として、すべての授業における探究的な学びの実践と評価方法を検討する</li> <li>・新たなカリキュラムを開発・提案する</li> <li>・津高校としての観点別評価の形を作成・発信する</li> </ul>		
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>・進路指導に関する情報共有</p> <p>・大学入試問題の分析や校内外模試を活用することによる教員の資質向上</p>	<p>◇進路指導に関する情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路決定に必要な情報を学年団に随時提供し、データを効果的に活用した指導体制の構築</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試の変更等にかかる情報提供</li> <li>・新課程による2025年度入試についての情報提供</li> <li>・校内外の試験の結果を基にした学年での成績分析会の実施</li> <li>・各大学・各予備校等の分析会・大学説明会の情報発信</li> </ul> <p>◇教員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外模試の作問・分析を通して教員の資質向上</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各予備校等の分析会・入試問題研究会の情報発信</li> <li>・校内模試の実施による作問・分析力の向上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>人権教育に関わる情報、方法の共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人権教育に関わる研修、フィールドワーク、研究会等への参加を促進します。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の開催、「人権だより」の発行等</li> <li>・人権教育推進委員会の設置と情報の共有</li> <li>・人権教育推進協議会の開催、人権教育推進計画の策定</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>生徒情報および指導方法の共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの生徒理解に基づいたきめ細かな支援を行います。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会等での生徒情報交換の実施</li> <li>・面談週間をはじめ、随時面談を実施</li> <li>・綿密な保護者との連携、情報共有</li> <li>・より良い関係構築に向けた校内での情報共有</li> <li>・特別支援教育または教育相談にかかる教員研修の実施</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	

	・特別支援教育推進委員会の実施		
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
働きやすい 職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の精選や改善、校内組織の点検等を行い、総勤務時間縮減を図ります。</li> <li>【活動指標】</li> <li>・設定した日の定時に退校できた教職員の割合 90%以上</li> <li>・予定通り休養日を実施できた部活動の割合 100%</li> <li>・放課後に開催して 60 分以内に終了した会議の割合 85%以上</li> <li>【成果指標】</li> <li>・時間外在校等時間が年 360 時間を超える教職員数 0人</li> <li>・時間外在校等時間が月 45 時間を超える教職員の延べ人数 0人</li> <li>・1人当たりの月平均時間外在校等時間 30 時間以下</li> <li>・1人当たりの年間休暇取得日数 15 日以上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			
項目	取組内容・指標	結果	備考
広聴・広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学校関係者評価委員会による学校評価を実施します。</li> <li>【活動指標】</li> <li>・学校関係者評価委員会の実施(年2回)</li> <li>◇ホームページ(HP)の活用、自治会との連携</li> <li>・積極的にHPを通じた情報発信を行います。また、「津高校だより」等を通じて、地域の方々等に本校の現状や取組についてお知らせします。</li> <li>【活動指標】</li> <li>・HPを活用し、連絡や行事等の活動・成果を掲載するため随時更新を行います。</li> <li>・「津高校だより」の発行(年間3回程度)</li> <li>・報道機関への情報提供(年間5回程度)</li> <li>◇津高入門講座(8月)、学校見学会(8月)の実施</li> <li>・津高入門講座において、生徒スタッフによる本校の紹介等を通して、本校の魅力を広く伝えます。</li> <li>・学校見学会において、授業の様子や在校生が実際に活動している様子を中学生に公開し、本校の教育活動を理解してもらいます。</li> <li>【活動指標】</li> <li>・津高入門講座・学校見学会への参加促進と円滑な運営、参加人数およびアンケート結果</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	

	◇学校PR用動画、パンフレットの活用 ・生徒が主体となって学校PR用の動画およびパンフレットを作成し、広報活動に活用します。 <b>【活動指標】</b> ・各中学校(生徒・保護者)への必要数配布		
改善課題			
(年度末に記載)			

## 6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

## 7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)